

令和6年第1回三芳町議会定例会 一般質問通告書

質問順序・質問者及び質問要旨

順序	質問者	質問要旨	質問内容	質問の相手
1	菊地 浩二	1 みえない路面標示とひび割れてガタガタの道路について	<p>1) 町内には消えかかって、または消えてしまってみえない路面標示やひび割れていたり穴が空いているような道路があることを町は認識しているか</p> <p>2) 道路施設等通報メールについて</p> <p>①この通報メールシステムは広く住民に認知されているか</p> <p>②既存のインターネットサービスを利用し、住民がスマートフォンでもっと簡単に、正確に町に通報できるのでは</p> <p>3) スマートICフル化供用開始に伴い大型車などの交通量の増加も見込まれることから路面標示の摩耗や道路面の亀裂、ひび割れも進むと考えられるがどうか</p> <p>4) 令和4年度路面性状調査について</p> <p>①調査結果は公表されていないが、今後の公表予定は</p> <p>②調査対象はなぜ下り車線のみか。例えば幹線18号線は上下線で路面状態に大きな差があるが、正確な把握ができるか</p> <p>③報告書P. 16では、今回の調査で平坦性を測定していないとあるが、幹線道路の縦断凹凸（IRI）はどのように測定したか</p> <p>④生活道路の調査結果をどのように評価しているか</p> <p>5) 舗装の個別施設計画について</p> <p>①本計画は公表されていないが、今後の公表予定は</p> <p>②平成30年3月の舗装の個別施設計画で予定された補修計画箇所はすべて計画通り補修は完了したか</p> <p>③令和5年3月に策定された計画は予定通り進んでいるか</p> <p>④計画を確実に推進するためには予算の確保が課題だが、コストの縮減と平準化をどのようにはかるか</p> <p>6) 路面標示について</p> <p>①路面標示の施工及び管理責任者はどこに</p>	道路交通課

			<p>なるか</p> <p>②2018年10月川崎市の市道で信号機のない横断歩道を渡っていた歩行者は車にはねられ、半身麻痺と高次脳機能障害で介護が必要となった。この事故の要因に白線が消えていたことが認定され、過失運転致傷罪に問われた運転手の刑事裁判は無罪となった。民事裁判でも消えた白線が争点となり、道路標示を管理する神奈川県が過失の一部を認め、和解した。町内にも摩耗した路面標示が沢山あるが、町ではこの事故をどのように受け止めているか</p> <p>③交通ルールを守っていても道路環境により交通事故は起こりえると考えるがどうか</p> <p>④横断歩道、ダイヤモンドや黄色の実線など摩耗した路面標示の塗り直しを県とはどのように協議しているか</p> <p>⑤町内の摩耗した路面標示はなぜずっと放置されたままか</p> <p>⑥摩耗した路面標示で安全性は問題ないと考えているか</p> <p>⑦町内全域の路面標示を早急に正常な状態にすべきでは</p> <p>7) 道路面の亀裂、ひび割れについて</p> <p>①アスファルト舗装の法定耐用年数は10年だが、10年及び20年以上経過している舗装は町内にどれくらいあるか</p> <p>②町内のあちこちにある亀裂、ひび割れの原因は何か</p> <p>③亀裂、ひび割れを放置すると道路に対しどのような影響があるか</p> <p>④道路の予防保全をどのように考えているか</p> <p>⑤亀裂、ひび割れはどのように対処しているか</p> <p>⑥町が管理する道路の横断歩道にも亀裂、ひび割れにより段差ができているが、修繕されないままている。歩行者がつまづいたりして危ないと思うが、なぜ修繕されないままなのか</p>	町長
--	--	--	--	----

			8) 道路面の段差について ①本復旧、仮復旧など道路工事後のつなぎ目などの段差はどれくらいまでを許容範囲とするか ②道路表面とマンホールとの段差の許容範囲は 9) 適切な時期に適切な維持修繕が行われなければ補修ストックは増加していく。道路利用者の安全性の向上のため限られた予算のなかでいかに効率的に効果的に維持修繕していくか	道路交通課 上下水道課 町長 道路交通課
2	桃園 典子	1 5歳児健診の必要性について 2 埼玉県コバトン健康マイレージの活用促進について 3 学校でのデジタル活用について	1) 改正発達障害者支援法の基本理念③に基づく町の取組みは 2) 就学前健診時に発達障害が判明した場合について ①入学前までに対応していることは ②教育センターや児童発達支援センターとの連携はあるか ③保護者や教育現場からはどのような声があるか 3) 国の乳幼児健康診査支援事業の拡充にあわせて、発達障害の早期発見・早期療育支援のために5歳児健診の実施体制を構築してはどうか 1) 健康マイレージについて ①現在の登録数は ②町独自の健康ポイントの内容は ③今後の登録者拡大の目標値は ④登録者拡大に向けた今後の取組みは 2) 健康づくり推進のため健康マイレージの参加者増を目指し町独自の健康ポイントに「健康診断の受診」や「いもっこ体操参加」なども加えてはどうか 1) 欠席連絡のデジタル活用について ①令和4年3月定例会でデジタル活用に向けて検討していくという答弁だったが現在の状況は ②連絡帳利用の場合、登校班での班長の負担や不在時の対応、感染症対策等様々な課題が想定されるか町の考えは	福祉課 教育センター 町長 健康増進課 健康増進課 学校教育課

			<p>③こどもや保護者の負担軽減のためにも欠席連絡に関するデジタル活用を早急に進めてはどうか</p> <p>2) 教育相談のデジタル活用について</p> <p>①町の教育相談メールについて</p> <p>ア 相談に対してどの程度の時間で回答するようになっているか</p> <p>イ 充分活用されていない要因をどう捉えているか</p> <p>②埼玉県 SNS を活用した教育相談について</p> <p>ア 利用状況の把握は</p> <p>イ 県と町で情報共有や対応における連携はあるか</p> <p>③迅速な相談対応や使いやすいツールとして、町でも SNS を活用し心理相談員等による相談体制を構築しては</p> <p>3) 情報発信について</p> <p>①令和6年2月1日に開催された心理相談会について</p> <p>ア 開催の経緯は</p> <p>イ 周知方法は</p> <p>ウ 予約申し込み数は</p> <p>②行事等のお知らせについて紙媒体だけで十分か</p> <p>③情報発信のプラットフォームとして学校ホームページの充実に取組んではどうか</p>	<p>教育長</p> <p>教育センター</p> <p>教育長</p> <p>教育センター</p> <p>学校教育課</p>
		4 三芳町手話言語条例に基づく取組みについて	<p>1) 手話言語条例に基づいた取組みについて</p> <p>①町として取組んでいることは</p> <p>②小中学校で取組んでいることは</p> <p>③条例制定からの9年間での効果と課題は</p> <p>2) デフリンピック事前キャンプのホストタウンとして全小中学校での手話の体験学習などを実施し共生社会の醸成に取組んではどうか</p>	<p>福祉課</p> <p>教育センター</p> <p>福祉課</p> <p>町長</p> <p>文化・スポーツ推進課</p>
3	細谷 光弘	1 ボール遊びについて	<p>1) 寄付された大谷選手からのグローブについて</p> <p>①町の見解とそれをどの様に活用していく予定なのか</p> <p>②現時点では、町のHP等にグローブの寄贈について触れられていないが掲載して</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課</p>

		<p>は</p> <p>③各学校での取り扱い、どの様になっているのか</p> <p>④紛失等の対策は</p> <p>⑤子どもたちへの大谷選手の思いをどの様に教育に生かしていくのか</p> <p>⑥グローブを使った道德の授業等での利用は考えているのか</p> <p>⑦グローブの寄贈に対して子供たちや保護者の声をまとめ、大谷選手に感謝の気持ちを届けて欲しい等の声もあるが、何か考えているのか</p> <p>⑧卒業する子供たちの希望があれば一緒に記念写真を撮ったらどうか</p>	<p>教育長</p>
		<p>2) 町内で、予約無しで無料でボール遊びが出来る場所はあるか</p> <p>3) 学校で自由にボール遊びが出来る時間はいつか</p> <p>4) 今後、町で自由にボール遊びが出来る場所を作って行く考えはあるか（耕作放棄地や有休農地等の利用等）</p>	<p>文化・スポーツ推進課 都市計画課 学校教育課</p> <p>町長 都市計画課</p>
	2 自転車シェアサイクルの導入について	<p>1) 開始時期は</p> <p>2) 運営は委託なのか、町営なのか</p> <p>3) 拠点（駐輪場・ステーション）は、何処につくるのか</p> <p>4) 利用料金等は</p> <p>5) 運用開始後に拠点を増やしていく計画は</p> <p>6) 関越自動車道三芳スマートICフル化後のパークアンドライド等の拠点づくりについての考えは</p> <p>7) 他地域との連携や相互乗り入れは</p> <p>8) 自転車専用道路が少ない町内において今後の自転車専用道路の整備計画は</p>	<p>町長 政策推進課</p> <p>町長 道路交通課</p>
	3 テニスコートについて	<p>1) 天候等コート不良により利用不可となった年間コマ数について（テニスコートリニューアル後の期間）</p> <p>①運動公園テニスコート</p> <p>②竹間沢テニスコート</p> <p>2) テニスコートの年間の利用率、平日・休</p>	<p>町長 文化・スポーツ推進課</p>

			<p>日について（テニスコートリニューアル後の期間）</p> <p>①運動公園テニスコート</p> <p>②竹間沢テニスコート</p> <p>3) 運動公園テニスコートの管理についてどの様になったのか（テニスコートリニューアルされる前と後で管理費用・委託先等）</p> <p>4) 竹間沢テニスコートの今までの借地期間は</p> <p>5) 竹間沢テニスコートの今後の方針について地権者や指定管理者との協議はしたか</p> <p>6) 竹間沢テニスコートについては、縮小して町で買い取り等の検討をすべきでは</p>	町長
4	吉村美津子	1 公立小学校・中学校の統廃合はやめることについて	<p>1) 三芳町学校再編等審議会について</p> <p>①審議会委員の変更はあるのか</p> <p>②三芳町立小中学校適正規模適正配置基本方針（抜粋）の確認には、少人数学級の良いところが、なぜ記載されていないのか</p> <p>③同方針に小学校適正配置はおおむね3km程度とあるがこの距離は遠いのでは</p> <p>④諮問事項は上富小学校、竹間沢小学校、三芳町立各中学校とあるが2年間で審議するのか</p> <p>⑤中学校3校の審議内容は</p> <p>⑥現在、上富小学校は廃止方向で審議されているが、少人数学級などのメリットをもっと審議していくべきではないか</p> <p>⑦答申（案）が提出されているが、審議が不十分では</p> <p>⑧上富小学校の良い点が多くあるのに、廃止の方向で進めるのは、結論ありきの審議内容となっているではないか</p> <p>⑨答申は1校が対象か、それとも4校なのか</p> <p>⑩答申の内容は、審議会委員全員の一致と思うがどうか</p> <p>2) 上富小学校について</p> <p>①児童の意見を聞いていくべきでは</p> <p>②上富小学校は廃止で、その跡地にビクターセンターを造るのか</p>	町長 教育長 学校教育課

			<p>3) 三芳小学校について</p> <p>①今後の考え方について</p> <p>②審議会で議論をしていくのか</p> <p>③三芳小学校の名称は残っていくのか</p> <p>④小中連携校とあるが、小中一貫校にはしないと思うがどうか</p> <p>⑤児童、保護者、地域住民の意見を早くから聞いていくべきでは</p> <p>4) 校舎の長寿命化施策について、耐用年数の目安を60年としているが、築80年などの長寿命化施策についても考えるべきでは</p> <p>5) 学校の統廃合はやめるべき</p> <p>①学校の統廃合計画は、町の「公共施設マネジメント基本計画」によるものだ。廃止方向だけではなく存続についても検討・議論をすべきではないか。</p> <p>②学校の統廃合によって約41億5千万円の縮減効果があるとしているが、詳細な積算根拠は</p>	<p>教育総務課</p> <p>学校教育課</p> <p>施設マネジメント課</p>
5	細田 三恵	1 防災への女性参画について	<p>1) 能登半島地方へ職員派遣でどのような報告を受けたか</p> <p>2) 避難所での活動報告の中で特に女性や子ども、高齢者にとっての安心で便利な避難所生活ができるような工夫がみられたか</p> <p>3) 現在の当町での避難所開設・運営マニュアルでの女性や子ども高齢者が安心して便利な避難所生活ができるような工夫した取組みは</p> <p>4) 防災に女性が参画する重要性をどのように考えるか</p> <p>5) 報告を受けた後、地域防災計画及び、避難所開設・運営マニュアル等への女性への意見や反映状況、内容について再検討するようなことはあるか</p> <p>6) 当町での災害対策本部の人数と男女の比率は</p> <p>7) 自主防災組織の人数と男女比率は</p> <p>8) 「第4次男女共同参画基本計画」では、主要施策①男女共同参画の視点に立った防災・防犯のまちづくりの中にも女性の参</p>	<p>町長 自治安心課</p>

		2 委託料について	<p>画促進が謳われているが、庁舎内災害対策本部や自主防災組織の中に女性の必要性を周知してはどうか</p> <p>9) 「三芳町地域防災計画」が改訂予定だが、女性が力を発揮するこれからの地域防災について女性防災リーダーを育成する事業を検討してはどうか</p> <p>1) 委託料の推移と現状について</p> <p>①委託料の総額と一般会計における割合、直近5年間の推移は</p> <p>②5年間の委託料の増加の要因は</p> <p>③今後も増える見込みか</p> <p>2) 委託料の適正について</p> <p>①委託料はどのように決めているか</p> <p>②競争性のない「特命随意契約」の価格はどの様に担保されているか</p> <p>3) 新たに策定される第6次総合計画と前回の第5次総合計画のそれぞれの委託に掛かった金額は</p> <p>4) 年度更新や数年置きに作成される報告書等について、簡素化や外部委託しない内部作成を増やすことで経費削減を図ってはどうか</p> <p>5) 今後における委託料に関して取り組む方針や方向性はあるか</p>	<p>町長</p> <p>町長 財政デジタル推進課</p> <p>施設マネジメント課</p> <p>政策推進室</p> <p>財政デジタル推進課</p>
6	林 善美	1 災害時の対応について	<p>1) 被災建築物応急危険度判定士の役割について</p> <p>①認定要件は</p> <p>②判定士の認定要件を満たしている職員数</p> <p>③判定士と認定されている職員数</p> <p>④町内において判定士と認定されている人数</p> <p>⑤災害時の業務内容は</p> <p>⑥災害時の招集方法は</p> <p>⑦庁舎、指定避難所、公共施設の判定は迅速に行わなければいけない。現状の体制で十分に対応できるか</p> <p>⑧職員の認定者数を増やしては</p> <p>⑨判定実施本部の体制は整っているか</p> <p>⑩招集訓練の実施状況は</p> <p>⑪地域連携避難訓練時に判定実施本部を立</p>	<p>都市計画課</p> <p>町長</p>

			<p>ち上げ、招集訓練を行ってはどうか</p> <p>2) 応急仮設住宅（建設型応急住宅）について</p> <p>①設置場所</p> <p>②設置戸数</p> <p>③設置にかかる費用についての検討は</p> <p>④まちづくり型応急仮設住宅についての認識は</p> <p>⑤応急仮設住宅の建設費用の予算措置は</p> <p>3) E V充電器の設置について</p> <p>①設置した理由は</p> <p>②ランニングコストは</p> <p>③公用車へのE V車導入により災害時の非常電源としても活用が期待されるのでは</p> <p>4) 災害時の児童生徒の心のケアについて</p> <p>①能登半島地震で行われたことは</p> <p>②地域防災計画には「教職員に対する防災研修を行う」とある。どのような研修が行われているか</p> <p>③「被災した児童生徒の心のケア」とは</p> <p>④児童生徒が専門知識のある直接気軽に話ができるような仕組み作りを検討しては</p>	<p>自治安心課</p> <p>町長</p> <p>政策推進室</p> <p>自治安心課</p> <p>学校教育課</p>
7	小松 伸介	1 防災対策について	<p>1) これまでの震災から学んだ点について</p> <p>①東日本大震災以降、各地で発生した震災からどのような教訓を得ているか</p> <p>②町の課題点をどのように捉えているか</p> <p>③教訓を活かす或いは課題を解決するためにどんな対策を講じてきたか</p> <p>④今後の新たな防災対策について考えはあるか</p> <p>2) 過去の一般質問の進捗状況等について</p> <p>①避難所等の運営及び電力確保</p> <p>ア 各避難所の避難者想定人数は</p> <p>イ 各避難所に派遣される職員及び支援者の想定は</p> <p>ウ 自宅避難されている方へ、断水した場合の給水や食料等、支援の手が届く体制は構築されるか</p> <p>エ 太陽の家で採用された方法で各避難所の電力確保を検討しては</p> <p>②災害時のトイレ</p>	<p>自治安心課</p> <p>町長</p>

			<p>ア どのような対策を考えているか イ マンホールトイレの整備状況は ウ 発災から仮設トイレ設置まで想定される時間は エ 衛生面を保つための対策をどう考えているか オ トイレ確保・管理チェックリストの活用は カ トイレトレーラー導入の検討は</p> <p>③一時避難所や福祉避難所の防災対策 ア 一時避難所の耐震状況は イ 集会所の修繕要望にしっかり対処出来ているか ウ 集会所へのW i F i 導入は エ 各福祉避難所の耐震状況は オ 福祉避難所が使用出来ない場合の対応は</p> <p>④仮設住宅や災害ゴミ集積用地の対応は ⑤地域支援の担い手確保のための取組み ア 消防団員充足の取組みは イ 中学生への防災教育の推進は</p> <p>⑥補助制度の創設 ア 耐震シェルターへの補助制度創設は イ 感震ブレイカーへの補助制度創設は ウ 止水版設置に対する補助制度創設は</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>学校教育課 町長 都市計画課 自治安心課 道路交通課</p>
		2 聞こえづらさ等の解消に向けて	<p>1) APD/L i Dに関する相談は 2) APD/L i Dの認知度アップのため広報等で周知しては 3) 保育園・幼稚園・小中学校等でAPD/L i Dについて周知は 4) 耳マークの周知、シールやカードの配布を検討しては 5) 役場窓口等へ字幕表示ディスプレイやコミュニケーションボード等の設置、その後の検討状況は</p>	<p>福祉課</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
8	久保 健二	1 災害時の命を守る備えについて	<p>1) 地域連携避難訓練について ①令和5年度(10月14日)実施を含め、コロナ前、後の参加人数は ②今までの経緯、検証した結果、各地域から出された意見等を踏まえあげられている課題は</p>	<p>町長 自治安心課</p>

		<p>2 三芳スマート I C 周辺施設 について</p>	<p>③令和5年度の実施に対し前回より変更した内容は</p> <p>④都内や県内、市内、町内全域で交通規制等をかけ大規模災害を想定して行っている自治体もあるが当町での実施方法、内容の見直しは</p> <p>⑤町内で参加出来ていない自治会、地域への対応は（有無も含）</p> <p>1) (仮称) 三芳バザール賑わい公園構想について</p> <p>①プロジェクトチーム提言書について</p> <p>ア 事例収集 道の駅等の現地視察を経て、どのようなことを活かせると感じたか</p> <p>イ 基本コンセプトとして地域の活性化以外に、他の地域を巻き込むことの重要性や施設の運営のためには集客が問題とあるが町の考えるコンセプトとは</p> <p>ウ 集客施設としての機能として、町の考える施設とは</p> <p>エ 周辺施設としてショッピングモール、センター等の参入、検討は</p> <p>オ 休憩施設としての機能として、町の考える施設とは</p> <p>カ 交通拠点施設としての機能に対しての町の考えは</p> <p>キ その他の機能での項目に対しての町の考えは</p> <p>ク 今後の展開において三芳PAとPassar三芳との連携とあるが町の考える連携とは</p> <p>ケ 各種計画の策定・設計・施工等のスケジュールの早期実現を期待とあるが現計画でのスケジュールは</p> <p>②基本構想からの変更点は</p> <p>2) 周辺環境及び周辺の整備について</p> <p>①供用開始後に予定している整備は</p> <p>②渋滞、抜け道、規制等に対する整備、対策は</p>	<p>町長 総合調整幹</p>
--	--	-------------------------------	--	---------------------

		<p>3 児童生徒の負担を軽減する対応について</p> <p>4 町内の景観を損ねないゴミ捨てゼロの町づくりについて</p>	<p>1) 自転車通学について</p> <p>①自転車通学許可、対象となる条件とは(学校区ごと)</p> <p>②自転車通学を許可している地域は(学校区ごと)</p> <p>③自転車通学対象の人数は(学校ごと)</p> <p>④自転車通学対象者のうち申請のあった件数、人数は</p> <p>⑤今まで自転車通学を望む声等の相談は</p> <p>⑥自転車通学を許可することになった際の課題は</p> <p>1) 不法投棄について</p> <p>①町内で不法投棄されている箇所は何か所あるのか</p> <p>ア 私有地の件数</p> <p>イ 公有地の件数</p> <p>②不法投棄に対する相談等は</p> <p>③どのような対策、処置をされてきたのか</p> <p>④監視カメラ等、設置の予定は</p>	<p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>町長 環境課</p>
9	長野真寿美	1 子育てと介護を同時に行うダブルケアへの支援について	<p>1) ダブルケアについての本町の現状認識について</p> <p>子育てと介護を同時に行うダブルケアに直面している人は2016年4月に発表した内閣府の調査によると全国で約25万人と推計され、その負担は女性に集中している。30～40代が全体の8割を占めている。晩婚化に伴い、出産時に親も高齢化するケースも多く、近い将来ダブルケアの増加が予測される。子育てと介護の複合的な課題を抱える家庭への支援体制が必要であると考えます。</p> <p>①本町におけるダブルケアの対象人数は</p> <p>②本町のダブルケアの認識は</p> <p>2) 包括的な支援体制について</p> <p>①子育てと介護は異なる担当課での対応と思うが、双方の連携は図られているか</p> <p>②子育てと介護の両方の相談を受ける「ダブルケア相談窓口」の配置については</p> <p>3) 保育園の優先的入園・特別養護老人ホームなどへの優先的な入所等、ダブルケア当事者への負担軽減策はあるのか</p>	<p>こども支援課</p> <p>健康増進課 こども支援課</p>

			4) ダブルケアという用語は認知度も低く、あまり周知されていない。本人も認識していない場合が多く行政によって広く周知啓発することが必要と思うがどうか	こども支援課
	2 コミュニティ・スクールについて		1) 本町が目指すコミュニティ・スクールとは 2) コミュニティ・スクールにおける現状と課題は 3) コミュニティ・スクール導入で、地域との協働・連携はどう変わったか 4) コミュニティ・スクール導入は教職員の働き方改革につながっているか 5) コミュニティ・スクール導入で、町内小中学校間の連携は 6) コミュニティ・スクールの今後の展開は	教育長 学校教育課
	3 教育について		1) 通級指導教室について ①言語指導ができる通級指導教室設置について、ニーズ調査をした事があるか ②その結果について検証は ③関係機関との連携を考えた事はあるか 2) 「体育座り」について ①近年見直しの動きがあるが、本町では体育座りについてどの様に考えているか ②令和5年6月の県議会定例会の一般質問質疑質問・答弁があったが、今後本町ではどのような研究・情報提携をしていくのか 3) 学校給食の無償化が全国的に進む中、今年度学校給食の無償化が実現した。学校給食を無償化し、安心して子育てができる環境づくりをすべきと考えるが、町の考えは	教育長 教育センター 学校教育課 教育長
	4 子ども支援について		1) 一時保育について ①町内一時保育サービスのニーズ調査は行ったことがあるか ②公立保育所・子育て支援センターでは受け入れはできないのか 2) 私立保育園・小規模保育園などの指導・監査について	こども支援課

			①立入調査をやっているのか ②調査の実施件数は	
10	牛丸 藍子	1 当町におけるハラスメントについて	1) 三芳町特定事業主行動計画について ①三芳町特定事業主行動計画アンケートの必須把握項目としてセクシャル・ハラスメント等対策の整備状況とあるが、計画に盛り込まれなかった理由は ②男女共生社会という観点、またハラスメントというネガティブな要素からくる課題に対しての町の認識は ③企業においてはハラスメントの改善努力は会社側の義務であるが、町の認識は 2) 職員意識調査のアンケート結果について ①過去3年間の職員意識調査のアンケートにおいて、アンケート結果に対しての町の対応は ア セクシャルハラスメントについて イ パワーハラスメントについて ②回答のうち、特にパワーハラスメントにおいて3年間減少していないか町の認識は 3) ハラスメントの相談対応について ①窓口での過去3年の相談件数は ②ハラスメントが事実認定された件数は ③厚労省の指針によると事実が確認できなかった場合も同様に「再発防止」に向けた措置を講じる事とある。事実認定できなかったケースの当町の対応は ④ハラスメントの事実確認等は誰が行っているか ⑤厚生労働省の指針では事実認定は相談者・行為者双方から丁寧に行うことが望ましいとされているが、当町での対応は ⑥ハラスメントの認定は高い割合で難しさが認識されているか町の認識は ⑦事実認定に関わらず、発生した事案は再発防止に生かすものとし、改善策を講じるべきでは ⑧町職員が事実認定も含めて審議することに関して、専門性や中立性について町の認識は ⑨職員が関与しない外部の相談窓口を設け	町長 総務課

			<p>るべきでは</p> <p>4) セカンドハラスメントについて</p> <p>①セカンドハラスメントに関して町の認識は</p> <p>②実例を取り入れたロールプレイング形式の研修は、観察や体感により気付きを得る効果が見込めると考える。今後必要な研修と考えるかいかがか</p>	
1 1	増田 磨美	<p>1 三芳町芸術文化のまちづくりについて</p> <p>2 藤久保地域拠点施設整備等事業について</p>	<p>1) みよし芸術祭を終えて</p> <p>①みよし芸術祭の目的は果たせたか</p> <p>②令和5年度のみよし芸術祭後の検証結果について</p> <p>ア 開催して感じた効果は</p> <p>イ 変更が必要な点はなかったか</p> <p>ウ 経済的な効果はあったか</p> <p>③今後の町の芸術文化推進事業を進めるうえで令和6年度も開催を考えているか</p> <p>④町の芸術文化推進事業を推進していくうえで芸術監督の存在は必要では</p> <p>2) 学校における芸術文化事業について</p> <p>①今後の文化芸術による子どものための事業の予定は</p> <p>②歴史民俗資料館と資料館まつりなどの重要性を児童・生徒にどのように伝えているか</p> <p>③町の文化を積極的に伝えることを考えてはどうか</p> <p>3) 町が誇れる文化と伝統芸術の継承・発展について</p> <p>①町が誇れる文化と伝統芸術を継承・発展させるために必要なことは</p> <p>②町で活動している団体と住民と一緒に目標をもって楽しめる事業を考えているか</p> <p>③みよし芸術祭を経て町の芸術文化に対する町の方向性は</p> <p>1) 藤久保地域拠点施設整備等事業の進捗状況について</p> <p>①進捗状況は</p> <p>②工事中の代替地の使用について</p> <p>ア 工事中の代替地の使用について整地の方法は</p>	<p>町長 教育長 文化・スポーツ推進課</p> <p>学校教育課</p> <p>文化・スポーツ推進課</p> <p>町長</p> <p>町長 教育長 施設マネジメント課 教育総務課</p>

		<p>イ 周りの囲いなどはどう考えているか ウ トイレの設置は エ 掃除などはどのようにするのか オ 学童保育室の児童の利用については カ 児童館利用者は利用できるのか キ 保護者、住民から多くの質問が出ていたが工事中の校庭の使用については丁寧な説明が必要では</p> <p>③工事について地域住民への説明会が望まれていたがどのような形でいつ頃行うのか</p> <p>3 町民が気軽に利用できるプールの必要性について</p>	<p>イ 周りの囲いなどはどう考えているか ウ トイレの設置は エ 掃除などはどのようにするのか オ 学童保育室の児童の利用については カ 児童館利用者は利用できるのか キ 保護者、住民から多くの質問が出ていたが工事中の校庭の使用については丁寧な説明が必要では</p> <p>③工事について地域住民への説明会が望まれていたがどのような形でいつ頃行うのか</p> <p>1) 町民のためのプールの必要性について ①児童・生徒のためプールの授業は望まれているものでは ②高齢者の健康維持、フレイル予防のためにプールは効果があると思うがどうか ③町の方向性として今後は学校プールを徐々に無くしていくとのことだったが変更はあるか ④町の民間プールの数は ⑤近隣のプールはどこか ⑥近隣市の民間プール利用状況は把握しているか ⑦民間プールの撤退の場合の対応は ⑧藤久保小学校の低学年の試行はすべきと思うがどうか ⑨近隣市と協力して公設プール設置を考えては</p>	<p>こども支援課 学校教育課 施設マネジメント課</p> <p>町長 学校教育課 健康増進課 学校教育課 文化・スポーツ推進課 町長 学校教育課 町長 文化・スポーツ推進課</p>
1 2	光下 重之	<p>1 町のイメージアップの2つの課題について</p>	<p>1) みずほ台駅西通り線（幹線22号線）の国道からの歩道づくりについて ①国道等から歩道のつながっていない駅通り線だが、みずほ台駅開設以来の行政の動きはどうなっているか ②国道の美しいケヤキ並木に比し、「東の玄関口」と銘打った駅入り口の貧弱さを感じたことはないか ③大型小売店舗出店等で275mの歩道が設置されるが、残りの歩道のない部分は約500mか ④多くの企業の人、大学生などが危険を感</p>	<p>町長 都市計画課 道路交通課</p>

			<p>しながら路端を歩いている状況の早期解消は</p> <p>2)不法投棄廃棄物撤去事業補助金交付要綱の抜本改正で、不法投棄廃棄物の早期撤去の考えはないか</p>	<p>町長 環境課</p>
	2 バス事業の危機と公共交通の展開	<p>1)「改善基準告示」などによるバス各社のコミュニティバス事業からの撤退宣言と近隣自治体の動きを把握しているか</p> <p>2)既存の路線バス事業者からの同様の意思表示など動きはあるか</p> <p>3)住民の交通権を最優先に地域公共交通の充実発展の基本姿勢を確立することが必要ではないか</p> <p>4)地域公共交通計画の変更点はあるか</p> <p>5)コミュニティバス(小型バス)を視野に入れた次善の策について</p> <p>①町内バス事業者へのアプローチでコミュニティバス運行はどうか</p> <p>ア 既存の路線バス事業者</p> <p>イ 町内の旅客運送事業者(路線バス認可が必要)</p> <p>②町内タクシー会社との連携で循環ワゴン運行はどうか</p>	<p>町長 政策推進室</p>	
	3 能登半島地震と防災対策	<p>1)能登半島地震の教訓としていわれている「地震リスクは小さい」という思い込みから、町は何を学ぶべきなのか</p> <p>2)被害想定を厳しく予測した対策について</p> <p>①「揺れやすさマップ」について、現実はまだ強くみていく必要があるのではないか</p> <p>②「建物倒壊危険度マップ」について、避難者数の想定との関連はどうなっているか</p> <p>③「液状化可能性マップ」について、極めて低いとしているが、本当にそうなのか</p> <p>3)埼玉県の直近の防災計画改正の内容は</p> <p>4)町のライフラインの安全性確保について</p> <p>①水の確保の点で取水井等関連施設・設備の耐震性は十分か</p> <p>②配水管耐用年数超過部分の安全性は</p>	<p>町長 自治安全課</p> <p>上下水道課</p>	

			<p>5)「地区対策本部」の拠点施設としての集会所の安全性の確保について</p> <p>①過去の全集会所の安全性点検の結果は</p> <p>②2020年建築基準法改正と集会所の安全性総点検の必要性は</p>	町長 自治安心課
13	本名 洋	<p>1 会計年度任用職員の処遇について</p> <p>2 命を守る取り組みについて</p> <p>3 町の観光PR、案内について</p>	<p>1) 会計年度任用職員制度を設ける理由は</p> <p>2) 増加の理由は(平成31年4月1日→令和5年4月1日)</p> <p>3) 女性職員の比率が大きい理由は</p> <p>4) 期末手当は引き上げられるか</p> <p>5) 時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されているか</p> <p>6) 不安定雇用であるがゆえの不利は無いのか</p> <p>7) 希望者は引き続き雇用されるか</p> <p>8) フルタイムでも会計年度である理由は</p> <p>9) 正規職員への登用の機会はあるか</p> <p>10) 正規職員との賃金格差をどのように考えるか</p> <p>11) 処遇改善は職員のモチベーションアップ、ひいては住民サービスに繋がるのでは</p> <p>1) 救命救急の職員研修を拡充すべきでは</p> <p>2) AEDを公共施設へ設置を進める考えは</p> <p>3) 24時間利用可能なAEDを増やす必要があるのでは</p> <p>1) 観光情報が不足していないか</p> <p>2) 駅及び町内の観光案内板の拡充は</p> <p>3) 駅前に町やバスの案内表示が必要では</p>	<p>総務課</p> <p>町長</p> <p>総務課 自治安心課 健康増進課</p> <p>町長 観光産業課 政策推進室</p>